

## ウ 山とその由来 [D- ]

- |            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| ・ D- 1 愛宕山 | ・ D- 2 大久保山 | ・ D- 3 若 山  |
| ・ D- 4 猿 山 | ・ D- 5 篠 山  | ・ D- 6 峯 山  |
| ・ D- 7 若葉山 | ・ D- 8 池田山  | ・ D- 9 屋代山  |
| ・ D-10 杜鵑山 | ・ D-11 入 山  | ・ D-12 小芹沢山 |
| ・ D-13 ふじ山 | ・ D-14 鷺坂山  | ・ D-15 高神山  |

### [ 解 説 ]

- 1 ・愛宕山 (D-1) ・矢沢の愛宕神社がある山からこの名がつけられたと思われます。
- 2 ・大久保山 (D-2) ・字若山の近くにあった大久保屋敷の裏山をいいます。
- 3 ・若 山 (D-3) ・字若山にあり、標高106mの山です。
- 4 ・猿 山 (D-4) ・レイクウッドゴルフ場内の字猿山にあった山で、昔猿がこの山に多くいたのであろうか。  
アイヌ語で叢林(そうりん)や泥沼地をサルと呼び、また遠い山を呼称するといわれています。
- 5 篠 山 (D-5) ・字篠山にあり、篠竹が多く自生していた山と思われます。
- 6 ・峯 山 (D-6) ・字峯山にあり、南西に標高116mの愛宕山へ連なるところから、峯山と呼ばれていたと思われます。
- 7 ・若葉山 (D-7) ・字若葉山にあり、標高97mの山で「葉山」は遠藤原の台地から見て、南東に張り出した山の端(端山)からその名が付けられたと思われます。
- 8 ・池田山 (D-8) ・字琵琶にあり、原氏宅(通称池田)の裏山をいい、標高108mの山です。
- 9 ・屋代山 (D-9) ・字屋代山にあり、子ノ社(子ノ神神社)の南西(裏山)に位置し、標高90mの山です。
- 10 ・杜鵑山 (D-10) ・字杜鵑山にあり、昔この山には多くの「ほととぎす」が生息していたので、杜鵑山と呼ばれたものと思われます(ほととぎすは、とけん科の鳥)。今では、レイクウ

ッドゴルフ場になっています。

- 11 ・入 山 (D-11) ・字入山にありましたが、現在は崩されて耕作地になっています。
- 12 ・小芹沢山 (D-12) ・字芹沢の南にある、標高80mの山です。
- 13 ・ふじ山 (D-13) ・字梨木窪にあり、寺分正藏院(観音様)の南方に位置し標高80mの山で、ここから眺める富士山は格別すばらしいところから、ふじ山と呼ばれたと思われます。
- 14 ・鷺坂山 (D-14) ・字鷺田にあり、標高86mの山で、近くの湿田に鷺が飛来し、営巢したと思われます。
- 15 ・高神山 (D-15) ・字高神山にあり、昭和40年(1965)頃までは標高100mの山でしたが、現在は切り崩され耕地となって昔の面影はありません。

ここに環境庁・神奈川県「関東ふれあいの道」の案内板があり、次のように説明がされています。

『高陣山 土屋城址 土屋三郎宗遠の城跡

土屋の丘陵にあって、段丘を利用し南に座禅川をひかえた、鎌倉時代初期の形式に属するものである。

この地は高陣山と呼ばれ、このほかに高見台などがあり、一族縁者が居を構える二宮の館、真田の館、岡崎の館、中村の館などに連絡ができる場所でもある。』

